

第102期（2021年3月期）
第3四半期決算資料

鉄で未来を 未来の鉄を



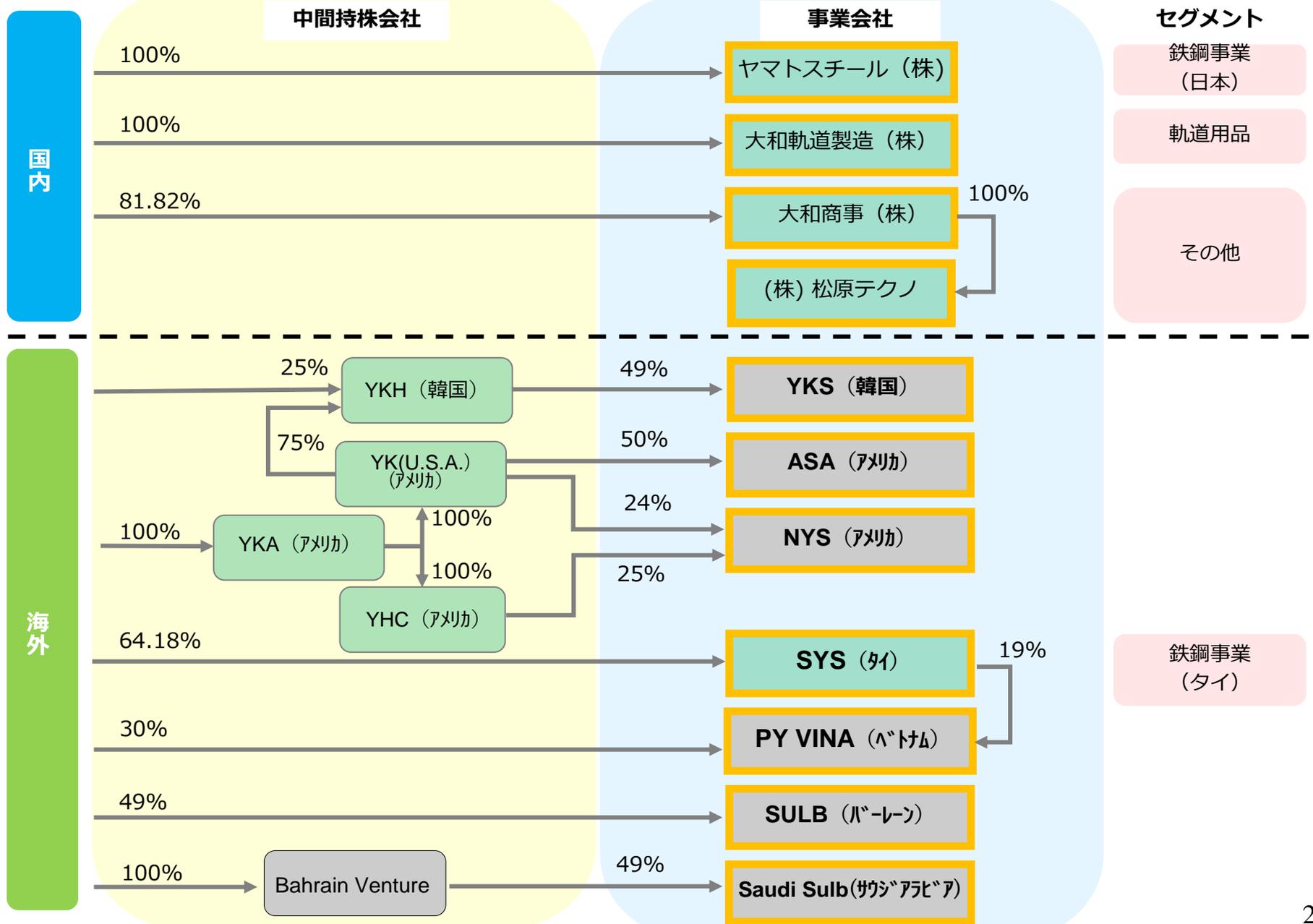
東証1部【証券コード5444】

2021年2月15日

資本系統図 (2020.12.31現在)

事業会社
 中間持株会社
 持分法適用会社
 連結子会社

大和工業株式会社(持株会社)



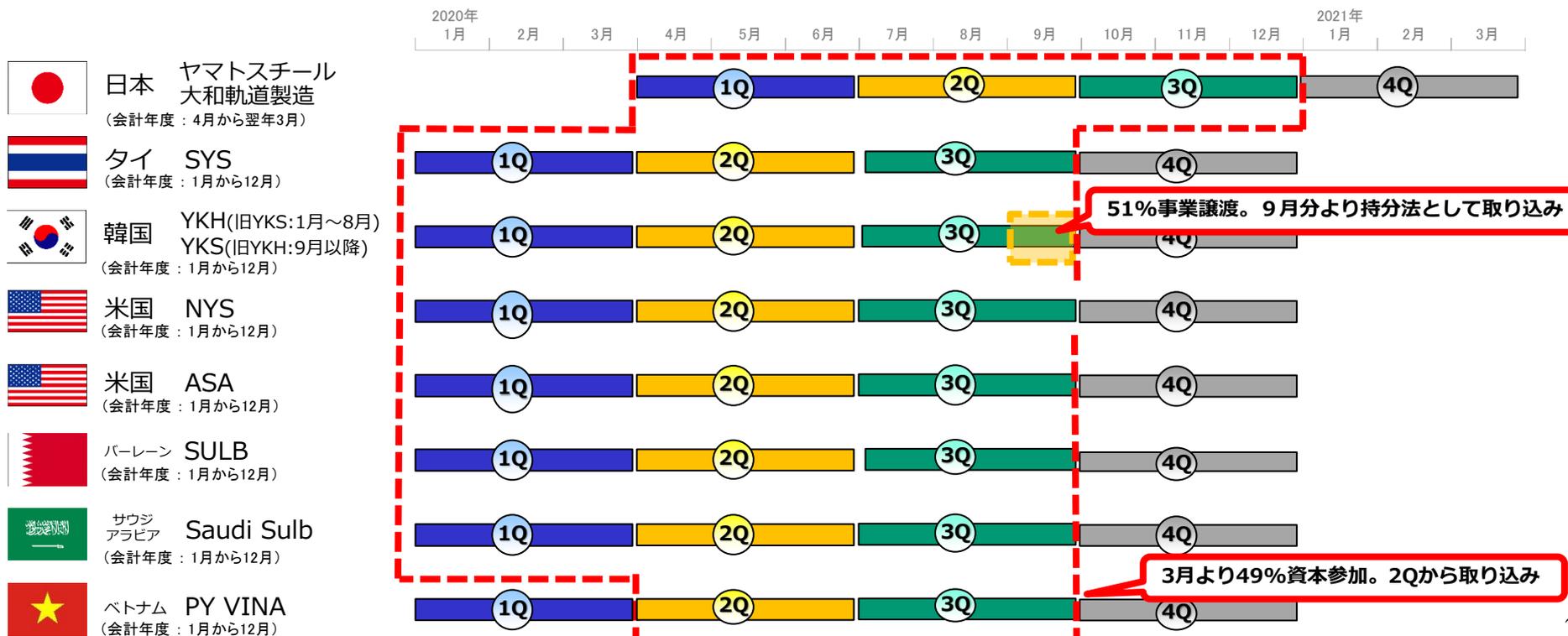
略語の説明

	タイ	SYS	Siam Yamato Steel Co., Ltd.
	韓国	YKH (IBYKS)	Yamato Korea Holdings Co., Ltd.
	米国	NYS	Nucor-Yamato Steel Company
	米国	ASA	Arkansas Steel Associates, LLC
	バーレーン	SULB	Sulb Company BSC(c)
	サウジアラビア	Saudi Sulb	United Sulb Company (Saudi Sulb) LLC

	ベトナム	PY VINA	POSCO YAMATO VINA STEEL JOINT STOCK COMPANY
	韓国	YKS (新YKS)	YK Steel Corporation
	米国	YKA	Yamato Kogyo America, Inc.
	米国	YHC	Yamato Holding Corporation
	米国	YK (USA)	Yamato Kogyo (U.S.A) Corporation
	バーレーン	Bahrain Venture	United Steel Company("Sulb") Bahrain Venture Co.W.L.L

会計年度及び3Q連結決算対象期間(事業会社)

 ... 3Q連結決算対象期間



2020年度 第3四半期連結業績

国内各社：2020年4月～12月

海外各社：2020年1月～9月

但し、鉄鋼事業(韓国)は2020年1月～8月。
PY VINAは2020年4月～12月。YKSは9月のみ。

➤ 2020年度 第3四半期 連結業績実績（前期実績比較）

	前3Q実績	当3Q実績	増減	増減率
売上高	140,002百万円	108,756百万円	△31,246百万円	△22.3%
営業利益	9,516百万円	8,690百万円	△826百万円	△8.7%
経常利益	19,420百万円	17,507百万円	△1,913百万円	△9.9%
純利益（親会社株主）	12,740百万円	4,874百万円	△7,866百万円	△61.7%

売上高

鉄鋼（日本） 7,342百万円減。販売数量減及び販売単価低下による。
 鉄鋼（韓国） 11,788百万円減。9月の分社分割及び大韓への51%株式譲渡により9月からは持分法会社に。
 鉄鋼（タイ） 13,962百万円の大大幅減。製品販売数量減、販売単価低下及びパーツ安の影響を受けたため。

営業利益

鉄鋼（日本） 2,044百万円減。販売数量減及び鋼材マージン縮小により減益。
 鉄鋼（韓国） 937百万円増。鋼材マージン若干改善及び加工費低下等により増益。9月の分社分割及び大韓製鋼社への51%株式譲渡により9月からは持分法会社に。
 鉄鋼（タイ） 6百万円減。販売数量減も、加工費低下等により前期並みの利益を確保。

経常利益

持分法投資利益は949百万円増加。一方で、金利の低下に伴い受取利息が1,336百万円減。また、円高により為替差損が634百万円増。

純利益

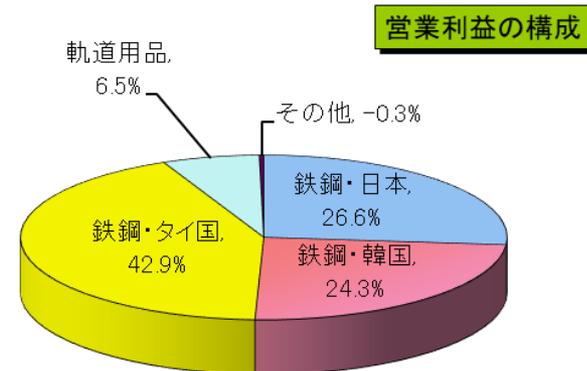
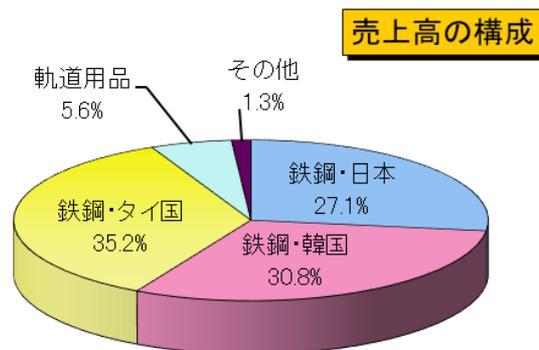
YKS株式51%の大韓製鋼社への売却に伴い7,381百万円の特別損失を計上。
 （詳細につきましては2021年3月期第2四半期決算補足資料をご参照ください。）

2020年度 3Q連結業績実績詳細 (前期実績比較)

(単位:百万円)

	内 訳						
	セグメント別	連結合計	鉄鋼・日本	鉄鋼・韓国	鉄鋼・タイ国	軌道用品	その他
3Q実績	売上高	108,756	29,503	33,524	38,260	6,038	1,428
	営業利益(セグメント別)	10,332	2,749	2,508	4,434	671	△31
前3Q実績	売上高	140,002	36,846	45,312	52,223	5,387	232
	営業利益(セグメント別)	11,194	4,794	1,570	4,441	377	11
差異	売上高	△31,245	△7,342	△11,788	△13,962	651	1,196
	営業利益(セグメント別)	△862	△2,044	937	△6	294	△43

	3Q実績	前3Q実績	差異
営業利益(セグメント別)	10,332	11,194	△862
全社費用	△1,641	△1,678	36
営業利益	8,690	9,516	△825
持分法投資利益	7,647	6,698	949
その他営業外収益	2,086	3,586	△1,499
営業外費用	918	380	537
経常利益	17,507	19,420	△1,913
特別利益	2	3	△1
特別損失	7,535	90	7,445
税金費用	3,917	5,208	△1,291
当期純利益	6,056	14,125	△8,068
非支配株主利益	1,182	1,384	△201
親会社株主利益	4,874	12,740	△7,866



➤ 2020年度 3Q累計実績概況（日本）

日本



鉄鋼事業(日本)：ヤマトスチール

- 建築需要回復の動きが鈍く、鋼材需要は低調で荷動きが伸び悩む状況が継続。
- 顧客の短納期発注の補足に努め、強みである短納期対応の拡充に製販一体で取り組むとともに、鉄スクラップ価格の高騰に対応すべく、鋼材価格の押し上げ・コスト削減に注力。
- 前年同期比で減収減益となるも、一定の収益を確保。

売上高【日本】



営業利益【日本】



➤ 2020年度 3Q累計実績概況 (韓国)

韓国



鉄鋼事業(韓国) : YKH(旧YKS)

- 2020年9月にYKHが営む棒鋼事業を会社分割により新設会社であるYKS(新YKS)に承継させ、YKHが有する新YKS株式の51%をDaehan Steel Co., Ltd.(大韓製鋼社)に譲渡致しました。その為、2020年1月～8月のYKHの棒鋼事業の業績が鉄鋼事業(韓国)に反映され、9月のYKSの業績は持分法による投資利益に含まれております。

売上高【韓国】



■ 3Q累計

※FY2020は1～8月

営業利益【韓国】



■ 3Q累計

※FY2020は1～8月

2020年度 3Q累計実績概況 (タイ)

タイ



鉄鋼事業(タイ) : SYS

- タイ国内は感染症拡大により4~6月期に落ち込んだ鋼材需要に回復の兆しが見えるも、鉄スクラップ価格上昇の影響を受ける。
- 中国・マレーシアからの輸入材の流入が続くなか、タイ国唯一のH形鋼メーカーとして少ロット・短納期対応等の顧客サービスを強化し対抗。
- 主要輸出先の東南アジア市場では、輸出先国での輸入規制(感染症対策)が緩和され、鋼材需要は上向きつつあるものの、海外メーカーとの激しい競争環境が継続。
- 販売数量は前年同期比減少。加工費加工費低下等により前期並みの利益を確保。

売上高【タイ国】

(百万円)



■ 3Q累計

営業利益【タイ国】

(百万円)



■ 3Q累計

➤ 2020年度 3Q累計実績概況 (持分法適用会社)



持分法投資利益



米国

- 鉄鋼製品については、流通倉庫などの非住宅建設が継続して堅調に推移した事を背景に、3Q累計期間の販売数量は前年同期比で増加し、収益も増加。

中東

- 鉄スクラップの価格上昇を受け、中間材であるDRI・半製品の販売数量が徐々に回復。
- 製品については販売数量の落ち込みは下げ止まったものの、GCC域内の建設活動の低迷が続いており、形鋼需要は引き続き低調に推移。

ベトナム

- 経済活動の再開に伴い、徐々に鋼材需要は回復に向かい業績も回復基調。
- 8~9月には営業利益の黒字化を達成。
- 9月には現地にエンジニアを派遣し、品質向上や操業改善によるコスト削減に取り組む。

韓国

- 鉄スクラップの価格上昇基調のなか、需要期を前に顧客が鋼材の先行手配を行ったこともあり、9月の販売数量は前年同期比で増加、収益も増加

2020年度 連結業績予想

国内各社： 2020年4月～2021年3月

海外各社： 2020年1月～12月

但し、鉄鋼事業(韓国)は2020年1月～8月。
PY VINAは2020年4月～12月。YKSは9月～12月。

《前回予想比較》

	通期予想(11/2)	通期予想(2/2)	増減	増減率
売上高	132,000百万円	136,000百万円	4,000百万円	3.0%
営業利益	9,000百万円	9,500百万円	500百万円	5.6%
経常利益	20,500百万円	19,500百万円	△1,000百万円	△4.9%
純利益（親会社株主）	7,000百万円	4,000百万円	△3,000百万円	△42.9%

《前期実績比較》

	前期実績	通期予想(2/2)	増減	増減率
売上高	181,964百万円	136,000百万円	△45,964百万円	△25.3%
営業利益	11,333百万円	9,500百万円	△1,833百万円	△16.2%
経常利益	23,125百万円	19,500百万円	△3,625百万円	△15.7%
純利益（親会社株主）	14,762百万円	4,000百万円	△10,762百万円	△72.9%

2021年3月期の見通しにつきまして

- 直近の日本(増収減益予想)及びタイ(増収増益予想)の状況を踏まえ、売上高及び営業利益を増収増益修正しております。
- 一方で、2021年1月に当社の持分法適用関連会社であるYKSが、韓国公正取引法に違反する行為があったとして、韓国公正取引委員会から429億48百万ウォン(約40億円)の課徴金納付命令を受けた事を反映し、経常利益及び純利益(親会社株主)を減益修正しております。(詳細につきましては、P.14をご参照ください。)

 **日本**

ヤマトスチール

- 価格最優先の受注を進め、販売価格の再構築に注力。
- 販売価格の押し上げに取り組んでいるものの、鉄スクラップ価格の高止まりから、前回予想比で増収減益の予想。

大和軌道製造

- 鉄道各社がコロナ禍の影響を受けていることから、翌期は不透明な状況なるも当期は利益を確保。

 **タイ国**

事業環境

- 2Qに落ち込んだ鋼材需要は徐々に回復の兆しを見せているものの、スクラップ価格上昇の影響を受ける。

輸入H形鋼対策

- 鋼材物流センターの屋内在庫保管能力を活かし、輸入品対抗サイズの即納体制を構築。タイ国唯一のH形鋼メーカーとして小ロット・短納期対応等の顧客サービスの強化に努める。

業績見通し

- 前回予想比で販売数量の改善により増収増益の予想。

 **米国**

NYS

- 堅調な非住宅建設需要に牽引され、鋼材需要も底堅く推移。
- 鉄スクラップ価格の上昇に対して製品価格の値上げもできている事から前回予想比で増益の予想。

ASA

- 上期を中心に鉄道各社が補修を増やした事等に伴う需要に支えられ、通期では前年並みの数量確保。

 **中東**

事業環境

- 製品及びDRI・半製品の販売価格は、メインマーケットの一つであるサウジアラビアがGCC域外からの輸入品に対する関税の引き上げを実施した事や、鉄スクラップ価格の上昇、中国メーカーが半製品の輸入を強めている事などから改善がみられる。
- 製品の販売数量の落ち込みは下げ止まったものの、建設活動の低迷が続いている事から形鋼需要は引き続き低調に推移する見通し。

業績見通し

- 低調な形鋼需要及び鉄鉱石価格の高値推移から、厳しい経営環境が継続。

 **ベトナム**

事業環境

- コロナ禍を受け凍結されていた建設プロジェクトにも再開の動きがみられ、鋼材需要も回復基調。
- 2020年8月にアンチダンピング調査が開始されて以降マレーシアからのH形鋼の輸入は沈静化。

業績見通し

- 鉄スクラップの価格上昇により、コスト面の影響を受けているものの、事業環境の改善を受け第4四半期は黒字の見込み。

 **韓国**

事業環境

- 鉄筋需要動向等、前回予想時点から事業環境の前提に大きな変化は無い見通し。

経営体制

- 現地パートナーである大韓製鋼社と原料購買や製品販売の各分野での連携を強化し、事業の良質化を目指す。
- 将来の工場移転を視野にいれ、引き続き大韓製鋼社と緊密に連携。

◆ 課徴金納付命令：内容

当社の持分法適用関連会社であるYKSが、鉄スクラップの購買に関し独占規制及び公正取引に関する法律(以下、公正取引法)に違反する行為があったとして、韓国公正取引委員会から429億48百万ウォン(約40億円)の課徴金納付命令を受けております。

現在のYKSは、当社の連結子会社であるYKHが営む棒鋼事業を分社分割によりYKSに承継し、また、YKS株式51%の大韓製鋼社への譲渡を経て、YKHと大韓製鋼社との合併会社となっておりますが、当該課徴金は分社分割前の期間を対象とした公正取引法関連案件から生じたものであることから、本件に起因する損失の最終負担者は全てYKHとなります。

尚、本件に関しましては事実認定に異議がある事から、不服申し立てを行う予定です。

◆ 今期業績予想への影響

- ・ YKH持分49%に当たる約20億円
⇒持分法による投資利益のマイナスとして計上予定
- ・ 大韓製鋼社持分51%に当たる約20億円
⇒大韓製鋼社に対する損失負担として、YKS株式の譲渡価額調整による関係会社株式売却損として、特別損失に計上予定

◆ 方針

業績に応じた利益配分を行う事を基本方針とし、連結配当性向30%を目途に毎期の配当額を決定するとともに、継続的かつ安定的な配当の維持に努めます。

自己株式の取得は中長期的に株主価値を高める観点から、市場環境や事業投資機会などを総合的に勘案し、適宜実施することを検討してまいります。

◆ 2021年3月期 年間配当予想 (2021年2月2日時点)

一株当たり 配当金	中間配当	期末配当 (予定)	年間配当 (予定)
	普通配当 40円	普通配当 40円	普通配当 80円

* 2021年2月2日公表

◆ 自己株式の取得の状況

取得期間	取得した株式の総数	取得額の総額
2020年8月4日～2020年10月30日	1,000,000株	2,580,192,800円

参考情報

- ◆ 換算レート・トン数表示
- ◆ 鉄鋼事業所別 販売トン数・鋼材マーヅンの推移
- ◆ 減価償却費及び設備投資
- ◆ 連結配当性向の推移

➤ 換算レート・トン数表示

① 連結財務諸表作成時の換算レート

損益計算書 - 3Q累計平均

	(前期)	(当期)
Dollar	109.22Yen/Dollar	107.26Yen/Dollar
Baht	3.50Yen/Baht	3.39Yen/Baht
Won	10.64Won/Yen	11.20Won/Yen

貸借対照表 期末日

	(2019年12月末)	(2020年9月末)
Dollar	109.55Yen/Dollar	105.81Yen/Dollar
Baht	3.63Yen/Baht	3.34Yen/Baht
Won	10.57Won/Yen	11.09Won/Yen

	(2020年3月末)	(2020年12月末)
Dollar	108.83Yen/Dollar	103.52Yen/Dollar

***参考 : 2020年度予想作成に用いた
平均換算レート**

	通期予想(今回)	前回予想	前年実績
Yen/Dollar	106.44	106.69	109.25
Yen/Baht	3.40	3.38	3.53
Won/Yen	11.09	11.17	10.67

***参考 : 2021年3月末 予想期末日レート**

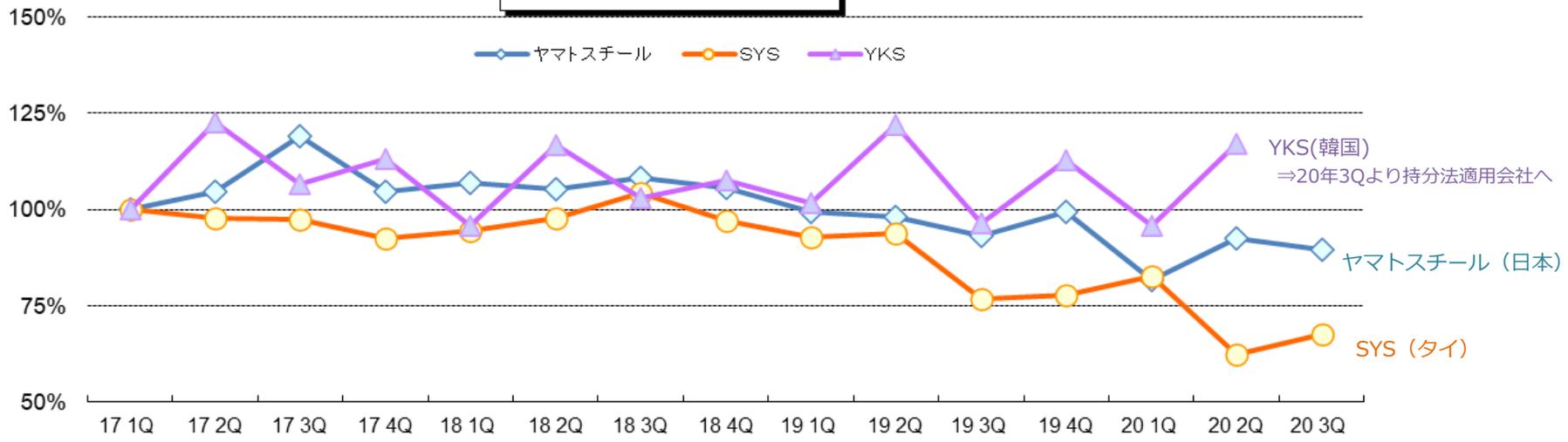
	(今回予想)	(前回予想)
Yen/Dollar	103.00	105.00

② トン数表示

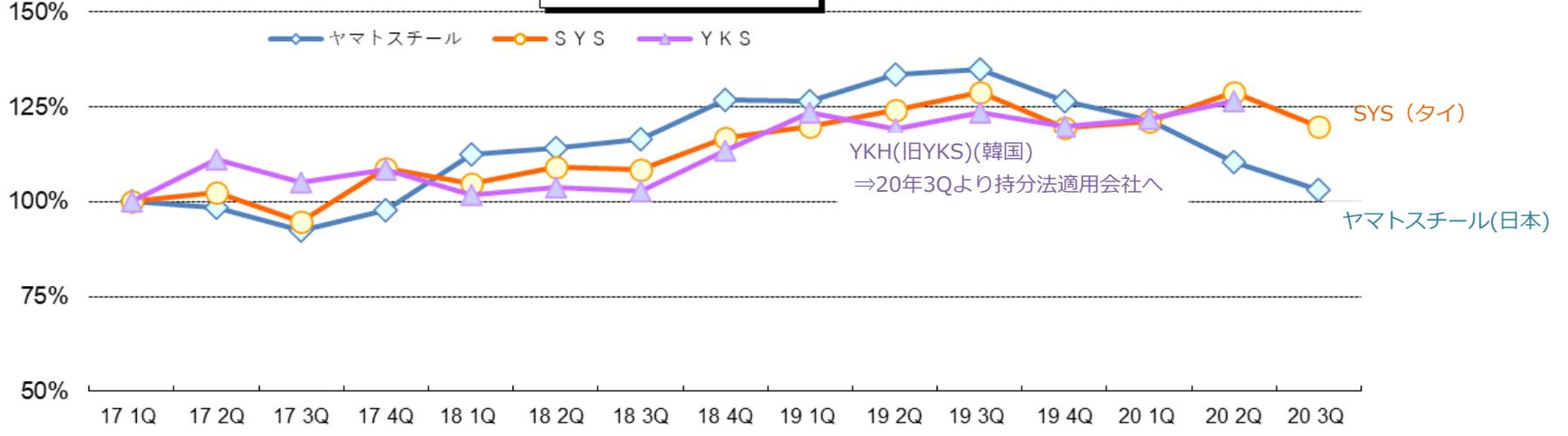
NYS、ASA・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ショートトン
 ヤマトスチール、YKS、SYS、SULB、Saudi Sulb、PY VINA・・・・・・・・メトリックトン

鉄鋼事業所別 販売トン数・鋼材マーゲンの推移 (2017~2020.3Q)

各社別販売トン数の推移



鋼材マーゲンの推移



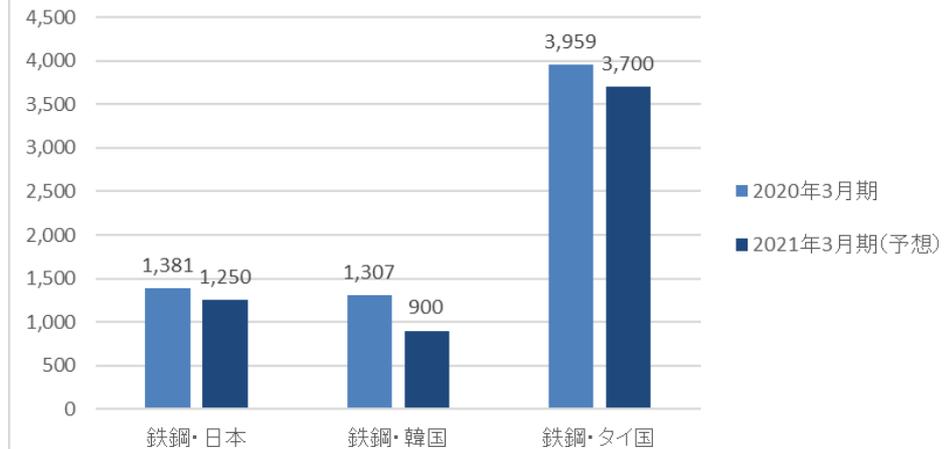
減価償却費及び設備投資

減価償却費

(単位: 百万円)

セグメント区分	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
鉄鋼・日本	1,381	1,250
鉄鋼・韓国	1,307	※ 900
鉄鋼・タイ国	3,959	3,700
軌道用品	334	350
その他	33	100
全社	69	100
合計	7,085	6,400

減価償却(セグメント別)

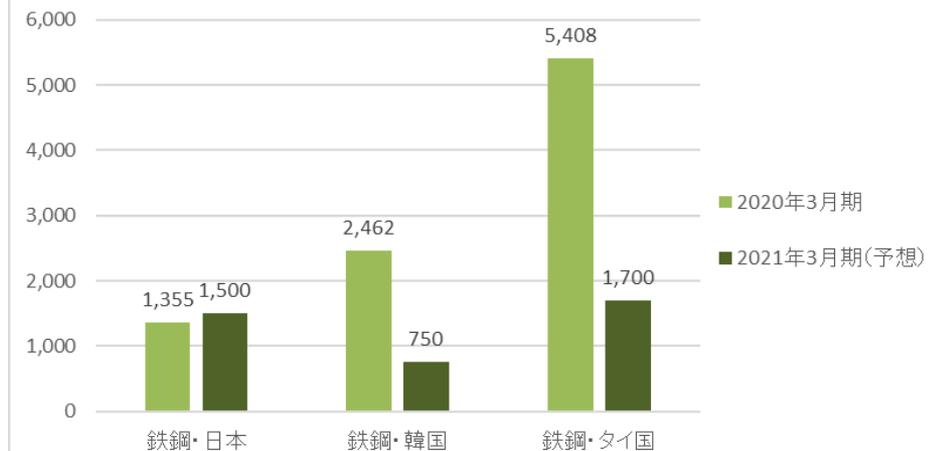


設備投資

(単位: 百万円)

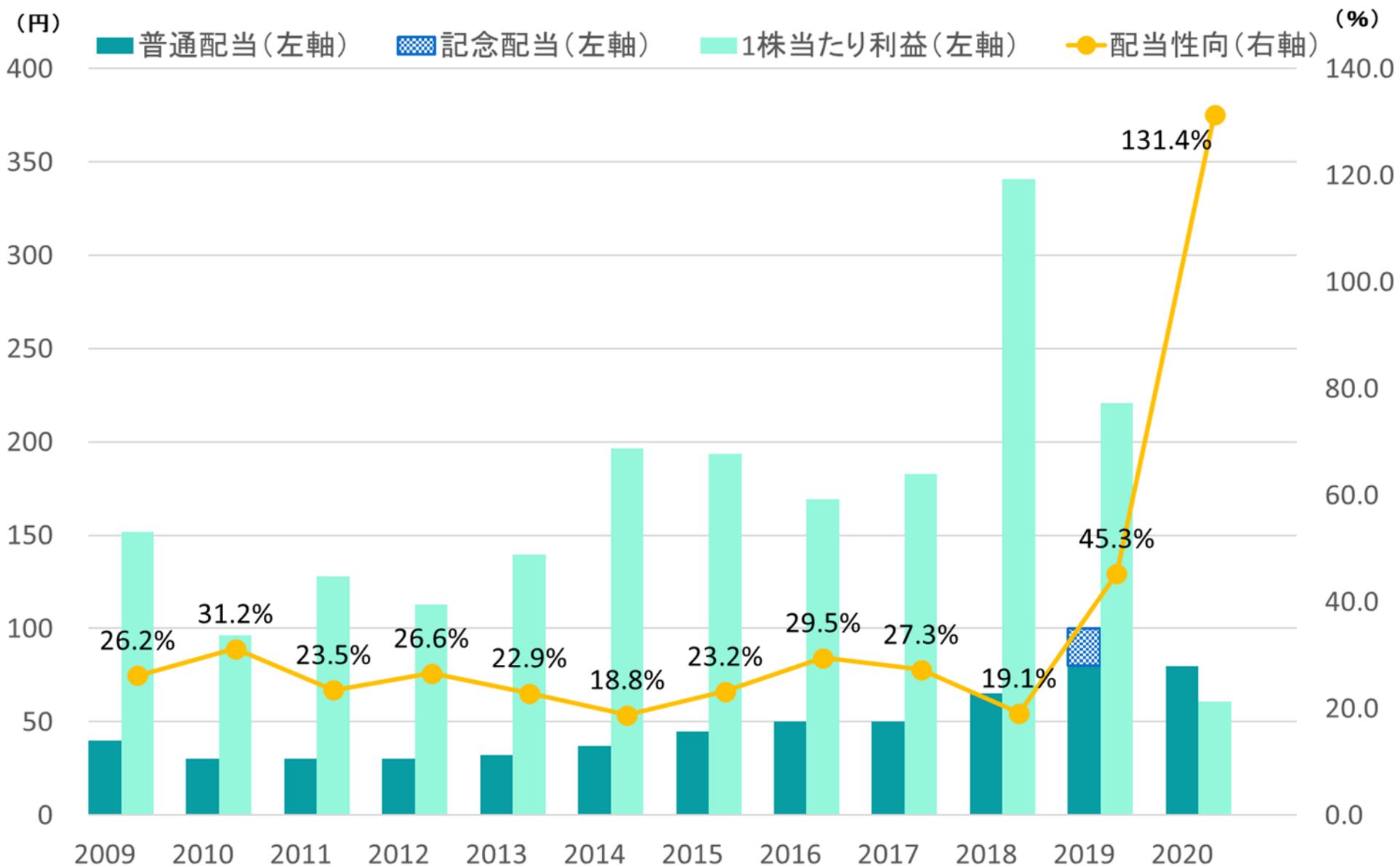
セグメント区分	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
鉄鋼・日本	1,355	1,500
鉄鋼・韓国	2,462	※ 750
鉄鋼・タイ国	5,408	1,700
軌道用品	282	1,000
その他	28	100
全社	241	150
合計	9,780	5,200

設備投資(セグメント別)



※ 鉄鋼事業・韓国は2020年1月~8月

➤ 連結配当性向の推移



ありがとうございました



大和工業株式会社

東証1部【証券コード5444】